

# 赤ちゃんへのB型肝炎ワクチン、どんな点に気をつければいいの？

## 全員の赤ちゃんが受けた方がいいの？

HBVへの感染が持続すると肝硬変や肝がんになる可能性があります。肝硬変や肝がんは大人の病気と思っている方が多いと思いますが、大人でHBVによる肝硬変や肝がんを苦しんでおられる方たちの多くは、3歳までに感染したためです。そのうちHBVキャリアのお母さんから生まれたお子さんがその大部分を占めています。ですから、HBVキャリアと妊娠中に判ったお母さんは必ず生まれた赤ちゃんの感染予防をしましょう。

2013年10月18日からそれまで行われてきた方法から世界標準の方法に変更されました。世界中でHBVキャリアのお母さんから生まれた赤ちゃんはこの方法を20年以上続けています。安心して予防してください。

予防の方法は「B型肝炎母子感染予防スケジュール」どおりに生まれてから12時間以内に始めてもらってください。妊娠がわかった時点で、産科や小児科の先生にあらかじめお話を聞くのもよいでしょう。

## B型肝炎母子感染予防スケジュール

